



凡 例
 — 鶴川本川
 ... 通行止め区間
 ◆ 第2回会議で意見の出た地点
 ● むかわ町のチャシ (北海道の岬より)

・2.7haの人工干潟を育てたい!!河口部に2.7haの人工干潟を再生したが、干潟が干潟として機能するために地道に維持管理をしたい。

・昭和36年噴水泳(タンポポ公園)。>私の時は鉱水のため泳げなかった。
 ・タンポポ公園。大川の河原がなくなった。
 ・タンポポ公園内の川。子供の遊び場でした。

・ヘイクボタルの確認(フジコ沼(豊城))。本川に入り込む小さな川にわずかながら生息。

・アサツキの群生地 >春日にもある。

渡舟場 キリカツ沢川

渡舟場 ハロ沢(イクハツ沢川)

・アオサギコロニー > 絶別の雑木林のところにアオサギコロニー(仁和)がある。

・平成18年3月穂別川の結氷が流下し、鶴川の合流点に堆積した現象があった。
 >川西頭首工に設置していた魚類遡上補助のブロックも倒れた。

・川東頭首工、川西頭首工より1,700ha(かつては)の水田を潤して保水の点からも素晴らしい効果。

・カワセミ観察。：生田小学校付近
 ・水神宮をお祭りしている地区がある。(生田地区)
 ・前は生田小学校から家に帰る時、暑いときは橋(旭生橋)を渡らずに川を泳いでいた。70歳ぐらいの方の話。

・小学生の頃、珍川(夕見)で写生会をした。
 ・珍川、夕見 意味を伝えたい。

・ムレトイの丘にてシヤマカムイノミを毎年行っている。
 ・堤防に(ムレトイの丘)シヤマカムイノミのヌサバがあります。私たちの自慢でもあります。昔のムレトイの丘は海の中になってしまい、現在は築堤の端で行っている。

・キナウス川→キナニ草、ウシ(ウス)ニ生える。

・アサツキの群生地(仁和大橋)

・仁和・栄の渡し舟。昔はロープをたぐって渡し船していた。

・小学生の頃はオビラルカ川付近は水の量が多くとてもきれいな水質でヤマメがよくとれた。今は水の量も少なくヤマメは全然いない。

オビラルカチャシ

ハップチャシ

チチャップチャシ

・穂別ダムのあり方

・福山渓谷の美しい紅葉を大事にしたい。

・流送(あば)中島地区あった。

・平成18年3月穂別川の結氷が流下し、鶴川の合流点に堆積した現象があった。

穂別橋

中島チャシ

平丘チャシ

高内橋

東雲チャシ、ニサナイチャシ

オソフシチャシ

トロスチャシ

・ルベシベ川→ルニ道、ベシニ沿って下る、ベニ川という意味。

・福山大橋には以前たくさんイワツバメがいた。

・ニニウ地区までサケは上った。
 ・ラフティングは、トマムリゾート、ニニウ辺りではないか。

・ボロカトマム 大きい湿地 意味を伝えたい。

・ボロカトマム下流の砂防ダムに魚道ほしい。

ミスバショウの群生が続きすばらしい景観。：串内

・ラフティングは、トマムリゾート、ニニウ辺りではないか。

トマムリゾート

・五重の塔がある。滝西にある。福山農畜ダム跡地をもっとこわして魚がのぼりやすくしてほしい。現在は半分くらい壊れて魚が上れるようになってもらったが、氷が少ないときに機能していないようだ。

・古冠からちょっと下がったところに赤岩青巖。

・双珠別ダム 美しい清流。
 ・双珠別ダムの放水が速い。降雨が降って村内の川も増水してから放水するため危険な状態になる。

・源流からすぐ(数百m)清流となる。美しさは最高。
 ・源流は道路のすぐ側にある。色々な説がある。